

遅れ破壊に対応しました

NETIS登録番号 SK-230003-A

シェルポンス

SHELLPONS

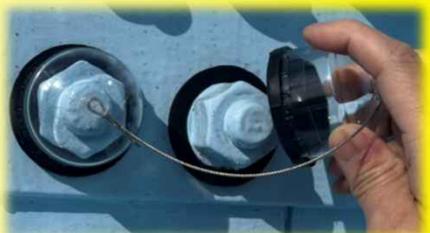


透明ボルトキャップ

ボルトの防錆対策と遅れ破壊落下対策が同時に可能

高力ボルトの頭部やナット部およびねじ部は、塗膜厚が確保しにくく、角部や縁部で塗膜が損傷しやすいため腐食が進行しやすい部位です。

透明ボルトキャップを被せるだけで、**防錆対策**が可能となります。さらに特殊スポンジを使用することで**防錆対策**と**F11T遅れ破壊落下対策**が同時に可能となります。



維持管理性 透明ポリカーボネートにより
目視点検が容易

耐候性 長期間使用しても
高い透明性を確保

施工性 被せるだけの簡単施工
接着剤・充填剤不要

安全性 連結ワイヤーで落下防止対策

経済性 塗替え回数を減らし、
維持管理コストを低減

高田機工株式会社

腐食促進試験

— 複合サイクル試験 —
200サイクル 1600時間

	無塗装 (キャップ無し)	無塗装 +キャップ	部分腐食 +キャップ
試験前			
80 サイクル			
200 サイクル			
評価	腐食が相当 進行している	腐食なし	腐食 進展なし

200サイクル後も腐食なし

水密性試験

— IPX7等級の水密性試験 —
水深1mで30分間設置



塗装面 腐食面

塗装面、腐食面ともに水の浸入なし

紫外線照射試験

— キセノンアークランプ試験 —
照射照度：180W/m² 照射時間：3000時間



品質・透明度とも問題なし

振動試験

— NAS試験（米国航空規格）—
振動回数：30000cycles（約17分）



ずれや脱落なし

高田機工株式会社 営業本部 デバイス推進室

〒556-0011 大阪市浪速区難波中2-10-70 TEL 06-6649-5122

device@takadakiko.co.jp http://www.takadakiko.com

防錆用ボルトキャップ

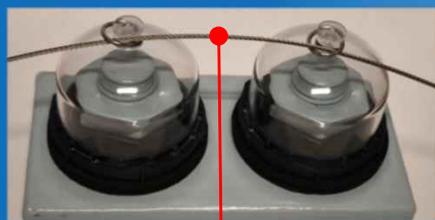
本製品をボルトの六角形状に合わせて被せることで高力ボルトの腐食の進行を抑え、塗替えサイクルを延長することが可能となります。接着剤や充填剤は不要です。落下に対するフェールセーフとして連結ワイヤーで接続しています。

透明ポリカーボネートキャップ

EPDMゴムパッキン



EPDMゴムスポンジ



連結ワイヤー



無塗装ボルトにキャップを設置



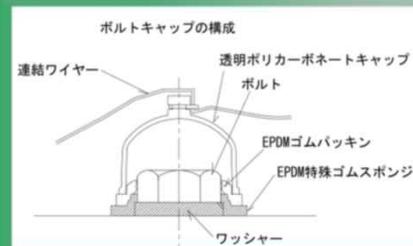
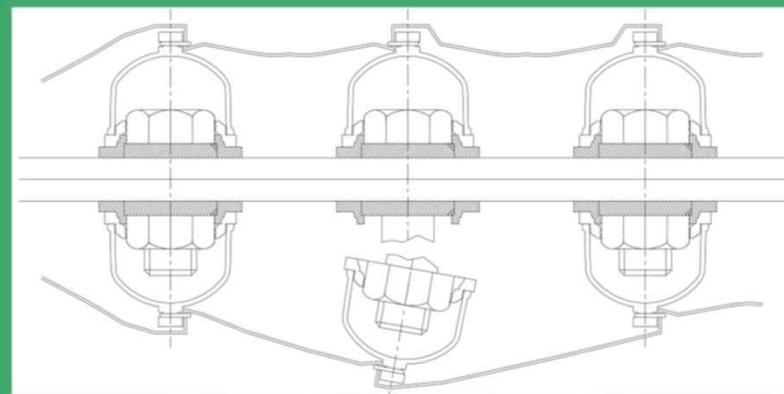
適用サイズ

M20, M22, M24 (高力ボルト・M24ワンサイドボルト)
M22, M24, M27 (普通ボルト)
※その他のサイズは御問い合わせ下さい

遅れ破壊用ボルトキャップ

1971年から1978年頃に用いられたF11T高力ボルトは遅れ破壊と呼ばれる突然ボルトが破断する事象が報告されています。

本製品をボルトに被せることで、ボルトの落下対策とボルトの腐食対策が同時に可能となります。



EPDM特殊ゴムスポンジ



特徴

ボルトの落下対策と腐食対策が同時に可能
連結ワイヤーがボルトの落下を防止

EPDM特殊ゴムスポンジがワッシャーの落下防止

かぶせるだけの簡単施工で接着剤等は不要



適用サイズ

M20, M22, M24 (F11T高力ボルト)
※その他のサイズは御問い合わせ下さい